

会 議 録

- 会議名 第2回みよし市男女共同参画プラン審議会
- 日時 平成25年7月25日(木)
午前10時から午前11時45分
- 場所 市役所3階研修室1
- 出席者
委員(出席) 会長：小田佳子(東海学園大学スポーツ健康科学部准教授)
副会長：花井伸(みよし市小中学校校長会代表)
正道克美(みよし市区長会副会長)
稲月かよ子(みよし市社会教育委員会副委員長)
木戸早苗(みよし商工会女性部長)
野崎又嗣(みよし市民生児童委員協議会副会長)
宮代カレン(在住外国人代表)、荒木理佳(公募委員)
岸野佳江(公募委員)
(欠席) 久野ひとみ(JA あいち豊田女性部三好支部支部長)
- 事務局 加納協働部長、天野協働部次長、森永協働推進課副主幹
城協働推進課主任主査、尾関女性活動推進員
- 会議公開の可否 公開 / 傍聴人数 1人

1 あいさつ

天野次長

定刻となりましたので、只今より「第2回みよし市男女共同参画プラン審議会」を始めます。

【一同起立、礼、着席】

本日はお忙しい中、お集りいただきましてありがとうございます。

本日の会議はみよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱第6条に基づき、会議の全部を公開としておりますので、予めご了承ください。

本日の傍聴には1名お越しいただいております。

なお、久野委員は、体調不良でご欠席の連絡をいただいております。

それでは、前回ご欠席されていた方もいらっしゃいますので、簡単に自己紹介をおねがいします。

【各委員、事務局 自己紹介】

2 議題

(1) アンケート調査結果について

小田会長

議題(1)「アンケート調査結果について」事務局の説明をお願いします。

城主任主査

【説明】

小田会長

質疑があれば挙手をお願いします。

宮代委員

みなさんに聞いてみたいのですが、このアンケート結果を見て非常に驚いたのが、問14の「特に男女格差はない」という回答が大変多かったことです。私は20年間会社で勤めてきて、ものすごく「男女格差」を感

じてきました。本当に「格差はない」と思いますか。

小田会長

先程の事務局の説明でも矛盾した結果とも考えられるとありましたが、問7では、職場において男女の地位が「平等である」と答えた人が21.8%と低いにも関わらず、問14では「特に男女格差はない」と答えた人が45%を超えているという点について、どう思われるでしょうか。

私は、問7「男女の地位が平等になっていると思いますか」の質問では、「地位」ということばから、役職に就くなどの際に、同じ様に一生懸命仕事をしていても男性の方が有利なことがあるかについての答えであり、問14「性別により不当な扱いをされたことがありますか」の質問では、「不当な扱い」ということばから、自分自身が性別によって差別に近いことを受けた実感はあるかについての答えだと感じました。それにより、問7は客観的に、問14は主観的に自分に降りかかった経験に基づいて答えたのではないかと思います。

宮代委員

それはわかりますが、私だけの経験かもしれませんが、私が働いていた時には度々（格差を）感じていました。簡単な例を挙げますと、男性の課長に、「女性には難しい仕事は出来ないので、いつも簡単な仕事しかしてもらわないようにしている」と言われて驚きました。それは1回だけでなく何回も言われました。また、会社の中では女性の係長、課長はほとんどいませんでした。女性はこういう仕事をやるべき、こういう仕事はできない、あるいはやらない、やらせないということを毎日のように言っていましたので、外国人だからそう感じたのかもしれませんが、ここにある以上にびっくりしました。

木戸委員

私は独身の時、病院で働いていたので女性の職場ですし、ドクターとナースとは全く違う職種なので（格差は）感じませんでした。今は自営業なので、私の方が偉いです。今の看護師は、だんだん男性が多くなってきて、やはり男性の方が上に上がることが多いのは事実です。また、女性は出産、子育てで休職するので、子育ては充実するけれど昇進は遅くなるようです。

岸野委員

私は、独身の頃は公務員という立場で働いていたので、男女平等だったが、「不当な扱い」を受けたかと言えば0（ゼロ）だったと思います。でも、出産、育児期間は、女性が当事者なので優先的に休みが取れ、敢えて男性で育児休暇を取る人は、まだその頃はいませんでした。そういう点で、女性の昇進昇格に差があることや、望めないのはそういうものだろうと思っていましたが、確かにそこでは格差があったかもしれないと思います。

また、問14の「お茶くみ等の雑用は職種に関わらず女性がすることが多い」という項目については、男性が出すより女性が出した方がソフトだろうと思い、率先してやるところもありましたが、それは日本的な感覚なのかもしれません。

それから、アンケート結果については、回答者の年代が重要だと思います。

ます。60歳以上の方が職場にいた時は、男女の地位の格差はあったと思いますが、問14では、現在職に就いている人に聞いているので、格差をものすごく感じている人が減っているのではないかと感じます。

宮代委員
荒木委員

民間の会社でそうでしょうか。

私は民間の会社で働きましたが、その頃は寿退社もあり、大卒ですがまだ総合職として採用されていないので、コピーとりやお茶出しという時代でした。でも、男女雇用均等になってからは採用が違うので、多少良くなったのかなと想像します。

宮代委員

平等といっても、何に比較して何を期待するかにもよりますが、私としては能力がある女性で、仕事を一生懸命やっていたら男性と同じように評価して欲しいと思います。しかし、私の目から見てそれはいいです。公務員や女性の職場などは違うかもしれませんが、特に製造業や大きい民間会社などはまだまだ男性社会で、友人からも今も同じだと聞きます。とはいっても、アイデアを持って積極的にやろうとはせず、お茶くみや雑用でいいという考え方の女性もいるので、100%男性のせいにはしたくはありません。ただ、今の時代においても、まだそういう所が根強く残っているように感じました。

小田会長
荒木委員

ありがとうございます。他にご意見があればお願いします。

問8の「男女が社会のあらゆる分野で平等になるためには、何が重要だと思いますか」という質問に対して、「習慣やしきたりを改める」、「育児・介護を男女が担うための制度やサービスなどを整備する」という回答が突出して高くなっています。私も選ぶとするとこれかなと思います。実際に習慣やしきたりを改めることは自分一人ではできないことなので、これを選んでも無駄と思われ、先程の説明にもあったように、みよし市の育児や介護については充実しているようなので、この二つが実質足りないのではなく、「男女が共に経済力を持つ」点に注目しなくてはいけないと思います。では、どうしたらいいかというと、例えば女性に経済的な考えを広めるテーマの講演会をするなど、働いてお金を得るだけでなく、経済的なことを夫婦ふたりで考えるなど、家庭生活を平等におくるための力を身に付けないといけないと思います。

小田会長

問8について、根本的に考えると、一番は、家庭の中で「男女が共に経済力を持つ」ことが可能となる方向に関心を向けるべきというご意見でした。このご意見について何かありますか。

宮代委員

とても賛成です。上手に言えないので代わりに言っていて嬉しいです。その通りだと思います。今の世の中の経済状況を考えると、なかなか専業主婦でいるのは難しいと思います。最近特に、子どもの教育費や他にもいろいろかかり、二人で働かないと大変だと思います。

こういった現状を考えて、パートナー改正に伴い、今正に行政が具体的にどういう手助けができるかを考えていかなければいけないと思います。

- 小田会長 他にありますか。
- 岸野委員 経済からは外れるかもしれませんが、家庭での男女の家事、育児の分担は、かなり家庭に任されていると思います。経済的に同等の立場であればなるほどとなりますが、男女平等になるには行政としてどのような提案をしますか。
- 城主任主査 それぞれの家庭の事情もあり、仕事を差し置いてもという訳にはいかないので、できる範囲内になると思います。男性にも家事、育児に関わってもらうために行政としてできることは、啓発が一番だと考えます。
- 荒木委員 男性の子育てに関する啓発活動についてのDVDなどを見たことがあります。仕事も子育てもバリバリやると寝る時間もないというような大変さを感じました。専業主婦の立場で言うと、仕事に行っている主人にごみ出しも頼み辛いです。パートであれ外貨を稼いでいると言いがたいと思いますが、啓発以外にも何かあればありがたいです。
- 花井副会長 啓発活動について私も賛成ですが、先程もありましたようにそれぞれの家庭内ではパートナー同士の話し合いになります。啓発活動としては、研修のような理論的なものだけでなく、実例を紹介するなどの情報交換もいいと思います。育児休暇中でもある程度の給料保証があるので、少しずつですが、県内の学校現場でも男性教諭が育児休暇を取るようになってきました。ただ、実際に男性教諭が育児休暇を取ると、周りはどうしてという目で見えるようですが、その家庭は非常にうまくいっているようです。そういう実際にうまくやっている家庭の話や聞くなどの情報交換もいいと思います。
- それから、DVの定義について、どのようにアンケートを取ったのでしょうか。数か月前にDVについての研修会があり、こんなこともDVなのかと思ったので、DVについての情報を示した上での回答なのか教えてください。
- 城主任主査 アンケート調査表の間17の下に、DVにはこんなものがありますという説明を入れています。
- 花井副会長 例えば、付き合っている場合に、食事代をいつもどちらかが払うのが当たり前になるのはDVだという話があったのですが、お互いに心の負担になっていけばDVなのかもしれないし、そうじゃない場合もあるのですか。
- 城主任主査 アンケート調査の中でのDVにはそういった場合は入りません。
- 小田会長 その他にありますか。

【質疑なし】

(2) プラン各施策の進捗状況について

- 小田会長 議題(2)「プラン各施策進捗状況について」事務局の説明をお願いします。
- 城主任主査 【説明】
- 小田会長 ただいまの説明に関してご意見・ご質問はありますか。
- 天野次長 説明のあった安心ステーションの相談員は、男性だけでなく女性も加えたらどうかということですが。
- 天野次長 安心ステーションにつきましては、警察官のOBの方をお願いするにあたり県警本部に依頼していますが、みよしに来ていただける女性の退職警官の方がいらっしゃらないようです。
- 小田会長 それは、まだ女性の警官がOBになっていないからでしょうか。必ずしも警察OBでなくてはならないのですか。
- 天野次長 いろいろなことを対応するために、交通安全や治安関係者などの専門的知識をお持ちの方に常駐していただくことが必要と思われま。
- 宮代委員 (施策について) とてもたくさんある印象を受けますが、みよし市民はこれだけの施策があるのを知っているのですか。せつかくこれだけの事業があるのに、PRは十分なのでしょうか。この間、私はサンネットがカリヨンに移ったことを初めて知りました。もちろん広報などには載っているとは思いますが、他にもPRすることはできないでしょうか。
- 野崎委員 ひまわりネットワークは、みよしの内容は少ないようで同じ内容を繰り返していますが、豊田市のことは細かく放送しているので、ひまわりを利用してはどうでしょうか。
- 小田会長 ひまわりネットワークに加入している人はどのくらいいらっしゃいますか。(挙手) 半分くらいいらっしゃるようです。
- 稲月委員 見ない方も多いようです。
- 宮代委員 何もないよりいいと思います。広報だけでは足りないと思います。
- 木戸委員 広報は情報が多すぎて、自分が見たい情報を選ぶのに時間がかかり過ぎます。
- 宮代委員 私もそう思います。時間がある時に見ようと思って置いておくと、次の広報が届いてしまいます。
- 天野次長 例えば、利用する人が多そうな所にポスターを貼るなど、何らかのPRが必要だと思います。
- 天野次長 市として、お知らせしなくてはいけない情報は、広報やホームページ、併せて広報に折込みチラシを入れるなどをしてしていますが、なかなか見ていただけないようです。みなさんにそういった情報を見ていただくこともお願いし、またPRの仕方についても考えていかななくてはいけないと思いますのでお時間をください。
- 宮代委員 難しいと思いますが、一度耳に入ると口コミで広がることもあるので、最初のステップが必要だと思います。
- 城主任主査 何かいいアイデアがあればお願いします。

小田会長
荒木委員

その他にありますか。

資料2の4ページ、「PTA活動への父親の参加促進」ですが、長男の時に、南中学校PTAの美化委員をしました。主な仕事は廃品回収でしたので、委員会の日程も土日でもよかったのですが、女性の先生の「土日は避けて夕方にして欲しい」というご都合に合わせ、委員選出のくじ引きの時点で母親が対象でした。また、廃品回収当日なら父親も出席できたと思いますが、子どもと母親でやっていました。その頃も、父親学級や運動会などの行事には父親も出席しましたが、PTA活動となると母親の担当になっていました。今は時代が変わり改善されているかもしれませんが、父親も参加しようと思っている人はいると思うので、土曜日の活動だけでも進んで出るように学校からお知らせがあるといいとこれを見て思いました。

小田会長
花井副会長

ここ最近の傾向としてはいかがでしょうか。

まず、PTAの役員決めのことはPTAのことですので、学校は関与していませんが、現状としては母親が多いです。PTAの役員会や地区委員会についても学校によりまちまちで、南中学では年に6回ぐらい土曜日の午前中にやっています。活動については、例えば6月の土曜日に学校の草取り活動には、多くの父親の参加があり助かりました。

それから、PTAとは別に、北中学校と三好丘中学校を一緒にした北地区の「おやじの会」というものがあり、父親のみなさんもいろいろ活動しています。ただ、実際は母親が多いです。

宮代委員

お父さんが参加したくても勇気がないと難しいと思います。夫も一回は行きましたが、女性ばかりで恥ずかしかったと言って二度と行きませんでした。女性側も「いらっしゃい」という気持ちがなければ男性も二度と行かないし、先程の話と同じように最初のワンステップを踏まないで広がらないと思います。男性が入るにはものすごく勇気が必要で、かわいそうな部分があると思います。私も外国人としてそこに入ると、クローズされた気持ちになり、みんなと少し違ったことを言うだけでウォということがあったので、男性も同じような気持ちになると思います。

稲月委員

私の主人は私任せでそういう時代でした。私の行政区は子どもがとても少ないので、父親も協力して廃品回収や夏祭りなど本当に参加して下さるので、少子化問題もありますが行政区としてはありがたいです。

宮代委員
野崎委員
宮代委員

人数が少ないと出やすいのでしょうか。

出ざるを得ないのではないですか。

参加したい父親もいると思いますが、参加し難いと思います。例えば、土曜日にしたとしても、言いたいことが女性と違うと溶け込めないということもあるので、積極的に参加できるような雰囲気を作ることが必要です。

野崎委員

最近はよくなってきているのではないですか。PTAの会長も男性が多いし大分変わってきているじゃないですか。

- 天野次長 役員だけじゃなくても、男性の方が出てくることも結構多いようです。「～さんはお父さんが出るよ」という話を聞いて父親が促され、そこでお父さん同士が仲良くなるようなこともあります。また、両親揃って保育園や小学校の入学式に出るようになってきていますので、PTA活動にも父親も一緒に出てくるのが多くなったのではないかと思います。
- 木戸委員 同じ南中学校で、私もPTA役員をしました。土曜日の午前中が役員会で、午後から委員会でした。入学式には、保育園、小、中、高校、大学まで、両親で、中には祖父母まで参加していました。また、母親が働いている場合、仕事が休めないという理由から父親の参加もあります。授業参観は昼間なのでまだ母親が多く、1時間の草取りには行けないという人も多いですが、そうやって参加していました。
- 小田会長 学校のPTA活動ということで、中学校は地元であり地域のコミュニティなので、もともと住んでいる父親には声を掛けやすいですが、新しい所ではそういう訳にはいかず、母親達の集まりにポンと行って面食らうこともあるかもしれません。先程の「おやじの会」のように、最初からネーミングをつければ、父親も集まりやすいと思います。最近では、廃品回収なども手の空いた方がどんどん参加し、男女共同参画の効果が出ていると思われまます。
- 正道委員 PTA活動でも、各家庭で父母のどちらか時間の融通できる方が出席し、会社が休めないから両方欠席ではいけません。男女共同参画だから同じ比率で出なさいではなく、各家庭で話し合いをして「今日はお母さん頼むね」「今日はお父さん頼むね」というのが自然だと思います。活動についても一緒に、「隣のお父さんが行く、じゃあ何とか都合つけて行こうか」、「今日はお母さん同士行こうか」、というのが自然だと思う。そういう状況下の中で、少しずつ男女が平等のような形で参加できる社会を作っていくことが大事だと思います。
- 私は、区長11年勤めていますが、区の役員でも、男女いろいろな人が出てきます。15～16人の役員は、初めて顔を合わすのですが、その役を決める時に、まず初めに自分が何をやりたいか、何が苦手で何ができるのかを言ってもらいます。それを踏まえて役を決めると、くじ引きではなく自らやる気持を持ち、欠席も少なく行事も楽しくやれるので、この最初の一步が大事だと思います。
- こういった形を取っていくことによって、区の中の行事や運営がスムーズになり、互いに補い合って組んで仕事ができます。夫婦でもそうだと思います。歯車のように、噛み合わせで一つのギアが回っていて、それを互いに認め合って、お互いにできることをできる限りやり協力し合う、私はこれが基本だと思います。
- こういった参画社会のいろいろな計画や企画がありますが、何が必要で何を補ったらその人が楽に動けるかということを考えることが一番大事で、職場で課長や部長の役に就くことが参画の平等じゃないと思いま

す。

2～3 日前に、子育てしながら漁師を 60 人束ねて、その代表として魚を全国に卸す、27 歳の女性のテレビ番組を見ました。何十年と漁師をしている人たちが、初めは若い女性に使われるのに反発していたのですが、卸した魚がどういう状態で東京に着くか、魚に付いて行く行動力と、その若い女性のリーダーシップに、漁師たちは頭が下がり、町を活性化していくという内容でした。魚を触ったこともない女性が、そこに飛び込んでいって自分の個性をぶつける、そういうことが大事だと思いました。

宮代委員

その人その人の能力、その人その人のできることを生かしてやりましようという社会になれば、男女共同参画ということばは必要なくなると思います。

正道委員

日本は封建的などころがあったからよけいに、国から指示しないとなかなか打破できないということがあって、こういうプランが必要ということです。

小田会長

ありがとうございました。家庭の中も、地域も会社も、お互いに認め合って、滞在適所だと思います。

それでは、次の議題に移りたいと思います。

(3) プラン見直し(案)について

小田会長

議題(3)「プラン見直し(案)について」事務局の説明をお願いします。

城主任主査

【説明】

小田会長

いよいよまとめに入って参りました。アンケートを反映する進捗状況の結果として、具体的に上げていただきました。また次回これを引き続き審議していくこととなりますが、予定時間も超えていますので、今この場で、内容について今日の話し合いを踏まえて確認しておきたいこと、質問があればお願いします。

野崎委員

II3、5 ページの「防災に関する男女共同参画の推進」で、災害は来ますので、防災訓練が 8 月 31 日に北中学校であります。細かいことについては行政区に任せて、市としては大きいことだけを記入ということによろしいですね。

天野次長

基本的には、女性の参画ということで、避難所運営もあり、自治防災会に女性も入っていただくようお願いするというのでこの中に入れていきます。

小田会長

その他にありますか。

【質疑なし】

では、細かくなりますので宿題ということで見てきていただいて、次回の審議会で各課から挙がってくるものに、これまでの話し合いの内容が反映されているかどうかご審議ください。

以上で予定されている議事はすべて終了しました。慎重なるご審議ありがとうございました。いただきましたご意見は、プランの見直しに反

映していただきますよう事務局をお願いいたします。

これを持ちまして本日の議事を終了します。

それでは、事務局から連絡事項をお願いします。

7 その他

天野次長

長時間に渡りありがとうございました。みなさま方のご意見は、プランに反映していきたいと思えます。先程担当より話がありましたように、各課より出てきた事務事業については、事前にお送りし次回の審議会でご意見をいただきたいと考えていますのでよろしくをお願いします。

次回の第3回審議会は、平成25年10月3日(木)午前10時からの開催を予定しています。改めて詳細についてはご案内します。

ありがとうございました。

【一同起立、礼】